

普及活動情勢報告（令和3年5月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

本山町の多面的機能支払事務局機能向上を目指して

～多面的機能支払担当者意見交換会を開催～



活発に意見交換する事務局担当者

4月20日、土佐町役場で多面的機能支払事務局担当者の意見交換会を開催し、令和2年度から本山町の多面的機能支払事務を担う「土佐天空の郷保全会」と本山町役場、土佐町事務局（土佐町役場）から合わせて7名が参加しました。

会では、各事務局が抱える課題や地域の特色・独自の取り組みについて情報・意見交換されました。

参加者からは、「他地域の取り組み状況がわかって参考になった」、「嶺北地域全体を担う事務局ができたらいい」など活発な意見が出されました。

普及所は「土佐天空の郷保全会」のさらなる事務局機能向上のため、情報収集の場づくりを支援していきます。

より楽で効果的な病害対策を目指して！ ～米ナス現地検討会～



ベビーダスターでの硫黄粉剤処理の実演時の様子

4月30日、土佐町でJA高知県れいほく園芸部米ナス部会現地検討会が開催され、生産者8名が参加しました。

普及所から病害対策として、ベビーダスターを利用した硫黄粉剤散布と換気による湿度低下について説明しました。硫黄粉剤散布については実演を行ったところ、参加者からは「これならできそう！」という声が聞かれる等、これまで利用に抵抗を感じていた生産者にも使用方法を理解してもらうことができました。

今後も普及所は、巡回指導や講習会を通じて米ナス部会の栽培管理技術の向上を支援していきます。

れいほく八菜を通じて地域の農業を知ろう ～小学校へ野菜苗提供～



苗を説明する農業部会員

5月6日と18日に、嶺北地域の全小学校に、地域を代表する野菜「れいほく八菜」の苗を提供しました。

この取組は農林業関係機関や団体等で組織する「嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会」が、小学生の農業や地域への関心を高めることを目的に実施しています。野菜作りの過程を観察するだけでなく、収穫した野菜を家庭で味わい、小学生が嶺北地域の農業について考えるきっかけになることを目指しています。

普及所は農業部会の一員として、今後とも次世代の農業の担い手となる若者への意欲喚起の取組を支援します。

栽培管理を見直そう ～甘長とうがらし勉強会～



みんなで定植作業中

5月6日、普及所は大豊ゆとりファームで雇用就農している職員4名を対象に女性農業者の農力向上を目的とした勉強会を実施しました。

会では、定植前から初期の栽培管理について説明したのち、実際に定植作業を行い、要点を押さえてできているか職員同士で確認しました。

かん水方法の指導で実際に土を掘って手で握ることで、畝の水分状態を確認した際には、「かん水が十分できていることが分かり安心した」や、「次作はマルチの張り方を工夫して、土の状態を確認しながらかん水する方法を検討したい」などの声が聞かれました。

今後も勉強会や巡回指導を通して大豊ゆとりファームの栽培管理技術の向上を支援していきます。

関係機関が一丸となって嶺北地域の農業を推進しよう ～嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会～



担い手の現状について共有

5月10日に嶺北農業改良普及所で令和3年度第1回嶺北地域農林業振興連絡協議会農業部会が開催され、部会員等23名が参加しました。同部会は嶺北地域の行政、農業関係団体、普及所で組織され、地域の農業振興に向け、れいほく八菜等販売促進、担い手確保、有望品目・栽培技術の導入等多様な事業に取り組んでいます。

令和3年度は、「嶺北地域農業振興計画」の改定に取り組むことが決議され、嶺北地域で一丸となって地域農業の維持発展の方向性と方策を検討することになりました。

普及所は農業部会のメンバーとして、嶺北地域の農業の推進に取り組めます。

お米を作る大切さを学ぼう ～小学5年生が田植えを実施～



田んぼで奮闘！

5月14日、おおとよ小学校は、大豊町杉で稲作体験学習（田植え）を行い、小学5年生、教員、大豊町役場職員など計19名が参加しました。

普及所からは、大豊町で栽培されている品種、水田の持つ様々な機能（洪水防止、暑さを和らげる、景観を保つ等）を説明し、環境を保全する稲作の重要性を伝えました。

田植え初体験の小学生も多く、「泥の感触が気持ちいい！」「昔の人は機械無くて大変や、腰が痛い！」と終始賑やかに作業が行われ、5aの‘黄金錦’を1時間ほどで植え終わりました。

田植えをした稲は、9月末に皆で収穫し、11月に給食で食べる予定です。普及所は今後も、農業の大切さを伝える食育活動を支援していきます。